

平成26年度第1回さぬき市高齢者虐待防止ネットワーク会議 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成26年7月24日（木） 14:00～15:20
- 2 場 所 さぬき市福祉事務所2階201・202会議室
- 3 出席者 [委 員] 十河章・山下博史・武田真紀・時岡信一・六車正徳・新居隆志・森  
浩之輔・中西健・鹿谷洋且・朝倉裕子・間嶋賀津子・矢野勲・山田  
勉・高崎通・山本孝広  
[事務局] 山下和久・國方秀樹・池上博子・高橋真理恵  
[傍 聴] なし  
[その他] なし
- 4 議 題 (1) 平成25年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における相談・活動報告  
について  
(2) 平成26年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における相談・活動状況  
について  
(3) 事例紹介
- 5 その他 (1) さぬき市徘徊高齢者保護ネットワークについて  
(2) 次回開催について

6 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>ただ今より、平成年26年度第1回さぬき市高齢者虐待防止ネットワーク会議を開会します。開会にあたり、部長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>(部長挨拶)</p> <p>続きまして、委員の紹介をさせていただきます。さぬき市高齢者虐待防止ネットワーク会議設置要綱第3条にもありますように、委員の任期は2年としています。</p> <p>(委員・事務局の自己紹介)</p> <p>さぬき市高齢者虐待防止ネットワーク会議設置要綱第4条に基づき、会長は健康福祉部長が努めさせていただき、副会長は会長の指名となっています。</p> <p>(副会長の指名)</p> <p>本会は会長が議長となることから以後よろしくお願いします。</p>
(議長)	<p>それでは、これより議事に移ります。</p> <p>まず、平成25年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における相談・活動報告について事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明 議題(1))</p>
(議長)	<p>ただいまの説明について、意見質問等ございませんか。</p>
(委員)	<p>資料4ページの(4)被虐待者の居住地についてですが、平成24年度は在宅が多く、平成25年度は施設が多くなっていますが、このことについては何か原因があるのでしょうか。それともたまたま昨年度は施設での虐待が多かったということなのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>全国的にも施設での虐待発生件数も増えてはいますが、本市において昨年度施設での相談件数が増えていることについては、特に限定された理由はありません。在宅における虐待の相談が少なかったですが、在宅での虐待が減少したというわけではないと考えています。</p>
(委員)	<p>そうしますと、今年度については平成24年度のように在宅での事例の方が多くなるということもあり得るということでしょうか。</p>
(事務局)	<p>あり得ると思います。全国的には在宅での事例の方が多い傾向にあります。</p>
(委員)	<p>資料11ページの(3)研修会についてですが、「認知症サポーター養成講座」を主にされているようですが、どのような内容の研修会なのでしょうか。</p>

(事務局)	<p>認知症に理解のある地域づくりということで、住民の方を対象に養成させていただいています。特に何か役割があるというわけではなく、まず認知症について正しい認識をしてもらい、日常生活の中で自分たちでできることを考えていくという内容になっています。被虐待者の中には認知症高齢者が多いので、認知症について多くの人に知ってもらうことが高齢者虐待の予防にもつながるので取り組みをさせていただいています。</p>
(委員)	<p>資料3ページの(3)被虐待者の性別、5ページの(6)被虐待者の要介護状態区分において不明とありますが、どうしてこのような結果になるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>在宅の場合は対象者がはっきりしていますが、施設においては匿名での情報であり、対象者が特定できない場合があります。</p>
(委員)	<p>虐待を受けている人の特定ができないのであれば調査が進まないのではないのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>通報があつて調査を行いますが、通報のときに詳しく情報提供してもらえないことがあります。情報提供してもらった範囲内で施設を訪問し、時間帯や該当するであろう高齢者の状況を確認したり、施設職員への聞き取りをしますが、なかなか把握ができないことが多いです。</p>
(委員)	<p>施設での虐待については、全国でも新聞等でニュースになっていますが、ネットワーク会議や行政で施設職員への研修は実施しているのでしょうか。昨年度において施設での虐待の相談が多かったことから、これから計画しているのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>市の方では施設に対して特に研修は実施していませんが、県の方では有料老人ホーム等、施設職員に対して研修を実施していると把握しています。</p>
(委員)	<p>施設で勤務していますが、施設は件数として上がりやすい体制だと思います。在宅については、まだまだ吸い上げができていないことから件数が少ないのではないかと思います。各施設では様々な体制を組んでいると思いますが、当施設では虐待・身体拘束防止委員会というものがあり、11の委員会の中のひとつで、職員に対して毎月虐待防止に関する研修を内容を変えて実施しています。県主催の研修にも代表者が参加し、それを職場に持ち帰って職員に研修する機会を設けています。事故報告書を作成しており、転倒したりぶつかったりする場に居合わせていなくても、痣を発見した場合には拾い上げ、その方の環境の中でこの痣ができる原因を考えるようにしています。常に身体の観察、委員会の活動を行い、虐待が起こらないように取り組んでいます。また夜勤があったり、人対人の介護という中で認知症という疾患にて訴えが複雑な場合もあり、専門的な対応が求められます。そのため、研修を積み重ねて専門的に対応できるように</p>

	<p>と考えています。いろいろな施設が増えており、全ての施設がそのような研修を実施できているわけではなく、高齢者住宅や有料老人ホームのように、お金を出せば 200 人も待たなくても入所できる施設についてはどのような研修が行われているのかはわかりません。</p>
(議 長)	<p>続きまして、平成 26 年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における相談・活動状況について事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明 議題 (2))</p> <p>ただいまの説明について、意見・質問等ございませんか。</p>
(委 員)	<p>成年後見制度に関する相談が多いようですが、どのような内容の相談が多いのでしょうか。概要を教えてください。</p>
(事務局)	<p>認知症で独居のケースが多いです。地域から孤立している、身寄りがいない、身寄りがいても親族からは拒否されているような方の相談が増えています。成年後見制度の利用が必要であっても、家族の協力が得られないケースについては、市長による申立てを今年度に入って 2 件行う予定です。</p> <p>[議題 (3) に関する会議資料及び会議録については非公開]</p>
(議 長)	<p>本日の議事案件については、これを以って終了させていただきます。</p>
(事務局)	<p>その他としまして、事務局から定住自立圏域高齢者セーフティーネットワークについてご説明します。</p> <p>(事務局説明 その他 (1))</p> <p>ただいまの説明について、意見・質問等ございませんか。</p>
(委 員)	<p>セーフティーネットワークは香川県独自のものなのでしょうか。全国的なもので、愛媛県や徳島県にもセーフティーネットワークはあるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>今のところ定住自立圏ということで、高松市、三木町、綾川町、さぬき市でもって構成しています。この圏域内であり、全国展開には至っていない状況です。</p>
(委 員)	<p>テレビ番組では驚くほど離れた場所で発見される事例がありますが、さぬき市で行方不明になり、徳島県や愛媛県など圏域を越えて発見されることもあると思うので、その場合はセーフティーネットワークとは別で捜索するというのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>手がかりがあればその自治体に呼びかけし、自治体内の関係機関に情報提供してもらうことは可能だと思います。</p>

<p>(事務局)</p>	<p>民生委員の立場ですが、認知症の問題については新聞、ニュース等でも徘徊や死亡して発見されるケースが多いようですが、香川県においてもそうした総数が 100 人近いという数字も出ていました。民生委員会では年間のテーマとして、いかに認知症の早期発見をし、声かけや訪問につなげられるかということに取り組んでいます。事例としては、一人暮らし高齢者を特に注意することが活動の中では多いのですが、高齢の母親と息子の二人暮らしで、その息子が義理であったとしても、息子がいるので大丈夫と判断しがちですが、親子関係が不仲で、母親が徘徊をしても息子が把握していないという内容のものが報告されています。気になるケースがあっても、どの時点で家族に相談したらよいかタイミングが難しい問題であるという声も出ています。しかし、難しい難しいと言っても仕方がないので、発見したら声かけ・訪問につなげていきたいと考えています。</p> <p>もう一つネットワークということで、四国新聞販売所と県警が防犯協定を結んで、配達中に徘徊している高齢者を発見した場合、新聞が数日分溜まっている場合には、すぐに通報してもらおうという内容のようです。</p> <p>今後も認知症に関わらず、虐待についても疑われるケースがあれば、地域包括支援センターにご連絡いただきたいと思います。また、地域包括支援センターから委員のみなさんにご協力をお願いすることもあると思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>続きまして、次回会議の開催についてでございます。</p> <p>次回の会議は、平成 27 年 1 月頃に行います。</p> <p>(事務局説明その他 (2))</p> <p>これもちまして、閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。</p> <p>(課長挨拶)</p>
--------------	--